



頻発する台風や豪雨に対応した取組

いぜんそん

伊是名村農地・水・環境保全管理協定運営委員会（沖縄県伊是名村）

いぜんそん

- 本地区は、平成20年度に完了した国営かんがい排水事業の受益地であり、国営事業及び県営事業等により造成された農業水利施設の維持管理を担う既存の土地改良区が活動組織に参画。
- 活動組織内の役割分担により、土地改良区の業務経験や技術力を活かし、活動実施に必要な事務作業、長寿命化対策への技術指導等のほか、異常気象の際の点検等の対応を、土地改良区が中心に行っている。
- 土地改良区が行う国営造成施設等の点検作業と併せて、協定に位置付けられた施設の点検を行うことにより、効率的で迅速な災害対応が可能となった。

【地区概要】

- ・取組面積 499ha
(田53ha、畑442ha、草地4ha)
- ・資源量 開水路 9.4km、農道 94km、
ため池 14箇所
- ・主な構成員
農業者、子供会、青年会、老人会、
土地改良区
- ・交付金 約13百万円(H29)
農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化)

取り組み内容

豪雨時、水路が氾濫し、農道や農地で冠水が発生！

- ・応急措置として、村の消防団へ連絡し、交通規制を依頼。
- ・同様の被害が発生しそうな施設の有無(異常気象等による土砂等の流入状況等)を点検確認。
- ・早急に対応が必要な施設は、状況に応じ作業委託により対応。



湛水確認後、応急措置として
土砂除去を実施



湛水未然防止のため土砂さらい

取組のメリット

頻繁に襲来する台風や豪雨の際、
土地改良区が施設の見回りや
応急措置等を実施

- ・個人の構成員の負担と危険な作業が軽減された。
- ・迅速な対応が可能となった。

氾濫防止のために行うため池の水位調整
や清掃作業の優先順位決定の際に土地改良
区の知見を活用

- ・災害対応の充実に繋がった。
- ・湛水被害が減少した。



豪雨前にため池の水を抜き、
水位調整のためゲート操作を実施